



きくがわ 社協だより

No.93
2012年
11月発行

ホームページ <http://www.kiku-syakyou.or.jp/>

社協(社会福祉協議会)は、みなさんと共に
「安心していきいき暮らせるまち」を考え、推進する民間団体です。

「いきいき活動応援中」



インター前花植え作業



グラウンドゴルフ



スカットボール

社会福祉協議会では、近隣社協やMネット東遠との共催で、「精神障がい者組織化支援・交流事業 グラウンドゴルフ・スカットボール大会」「精神障がい理解普及啓発交流事業 ふれあい企画」をそれぞれ年2回行っています。

11月15日(木)に2回目のグラウンドゴルフ・スカットボール大会を、12月16日(日)に2回目のふれあい企画を開催予定です。

社会福祉法人 菊川市社会福祉協議会
〒439-0019 静岡県菊川市半済1865(プラザけやき内)

☎(0537)35-3724 Fax(0537)35-3202
Eメール info@kiku-syakyou.or.jp

『知ってほしい 精神障がいのこと』

今回は、当事者のみなさんと、日頃から当事者の方たちと関わりを持っているみなさんにお集まりいただきました。みなさんの活動内容や、活動について思うことなどを話していただく中で、精神障がいについて、理解を広めていただけたらと思います。

日頃、仕事や活動としてどのような関わりを持っていられたいですか？

山内 あしたばの会の主な活動は、菊川市が行っているサロンのお手伝いです。サロンの内容は、調理実習を菊川会場で月1回、小笠会場で外出やいろいろな行事を月1回行っています。その他に、作業所のお手伝いをしています。

松下 ひまわり会は当事者を持つ家族で構成されている会で家族同士の交流や専門医等による研修会の開催、Mネット東遠等の作業所への協力を行っております。また、家族・一般の関心のある方を対象にした講演会を開催し、病気の理解をしていただく啓発事業を実施しております。

原田 菊川病院では精神科病棟があるので、入院と通院の両方の方から福祉的な相談を受けています。作業所に通いたいとか、金銭面での補助制度があるのかとか、生活上の幅広い相談があります。相談は、ご本人だけでなくご家族の方もみえられます。

水野 Mネット東遠は事業所なので、障がいを持った方々が自立するための一つの手段として、日中に内職やクリーニングといった仕事をし、一般就労に結びつける橋渡し役が主な役割です。もう一つは、菊川に相談支援センターがあるので、地域支援活動の中で菊川市民の方々の心の相談をしています。その2つが中心に取り組んでいる事業です。

山田 精神障害保健福祉手帳と自立支援医療の申請にみえるご本人やご家族の相談を受けています。



菊川市役所福祉課 障がい者福祉係 山田左知代さん

す。また、相談支援や地域活動支援センターの事務をする中でも、ご本人やご家族から直接相談を受けることや、周りの方たちなどから連絡が入ることもあります。

精神障がいとはどのような障がい、どのような困難や不便を伴うのでしょうか？

原田 精神障がいは目に見えないので、特定してここが障がいたよとわかってもらうのがなかなか難しいのが特徴です。それから、障がいそのものが個人個人違います。

菊川病院には精神科デイケアがあって、そこに通所している障がい者を見ていくと、生活能力の障がいというのが特徴なのかなと思います。生活能力の障がいを具体的にいうと仕事が長続きしない、人前で話すことや人づきあいが苦手、疲れやすい、一度に複数の問題に対処しようとするとうるさくなるなど、他の人に比べて自分が劣っているんじゃないかという不安や劣等感を強く感じている方たちです。だから生活していくことに自信がないと思ってしまうようにみえます。別の言い方をすると精神障がいは「生活のしづらさ」と表現することもあります。

水野 確かに持続性はないです。作業所で午前9時から午後3時半まで継続して作業ができる人は本当に少ないです。これがこの病気の一つの表れとなっています。それと、一週間に5日通える人たちもなかなか少ないので、一般企業に働きに行くには壁が厚くなっています。

Aさん 知り合いにあまり会いたくないということがあったりします。被害妄想もよくありました。勝手に思い込んでしまうことがあります。人の視線が気になり過ぎたりします。会話を一つ一つの言い方が気になります。それでしゃべれなくなりそうです。神経質になり過ぎ



ひまわり工房 Aさん



小笠地区精神保健福祉会 ひまわり会 会長 松下栄一さん

に1回くらいはやる感じですが、**精神障がいに対する理解が少しずつ広がってきている中で、地域生活や地域の方たちの変化を感じたことはありますか？また、私たち地域住民ができることは何でしょうか？**

平野 以前は主人からおかしいと言われていたが、理解してくれて精神面で気が楽になりました。

水野 精神保健福祉の取り組みはあまりされていなかったのですが、社協がここ2、3年、高校生や一般の方とふれあう企画をしてくれて、障がいを知ってもらう活動をやられているのはとてもよいことだと感じています。うちの事業所でも、作業所の中の仕事だけではなく、そういう企画に積極的に参加するようにしています。それはこれからも続けていきたいし、障がい者のことを知ってもらうためには、いつでも作業所や、工房オアシスに来てもらって、一緒に仕事をしてもらうとか、そういうことが自由にできるようになれば、もっと理解が広まるのかなと思います。

原田 以前は、精神保健福祉の問題は専門家同志が取り組んでいて、最近では、社会福祉協議会が精神保健福祉ボランティアの養成講座を開いて啓発活動などを行ってきています。一般の市民の方たちが障がい者と一緒に活動することでお互いが理解し合って、交流が進んでいくものと思います。



ひまわり工房 平野治美さん

ることがあります。**杉山** 料理は好きなんです、掃除はやる気が出ない。やる気があればやるんだけど、やる気が起きない感じ。やる気を出せば家全部を一日かけてやるんですけど、それがなかなか。だいたい3ヶ月に1回くらいのペースでやる気が起きるんですけど。料理だったら、2週間

す。こういったことは地道な活動ですが、一緒に何かをやる場面を作っていくことが必要だし、それが今まで少なかったと思っています。それから、障がい者のサポートには、直接的なサポートと間接的なサポートがあつて、一緒に何かをやる直接的なサポートも大切ですが、精神保健福祉に関する地域の研修会や講演会に参加してみるとか、間接的な活動にも足を運んで、気楽に参加できるんだという雰囲気を作ること大切だと思っています。



菊川市立総合病院 医療福祉支援課 課長 原田正美さん

山内 精神障がいをもっと理解してもらおうのは難しい問題。偏見、先入観、差別を無くさなくてはいけない。マスコミは何か事件があると、精神科受診者だということをすぐに出す。危険だという先入観を払拭しなくてはならない。それにはマスコミへのはたらきかけが必要だし、当事者や家族自身も隠さないで、できるだけ世の中に出て行き、薬で安定していればみんなと変わりない、引け目に感じることはない、誰もが理解できる形に持っていくということが一番大事だと思います。ここには家族会はあるけれども当事者会がないので、当事者会をつくって、クラブや趣味の会に出て行って、みんなと変わらないんだという感じを持つてもらえるようにする。当事者会は2ヶ所あるグループホームを拠点にして、みんなが集まって話し合い、外に出て行くという形をとれると一番それが早道じゃないかなと思います。



精神保健福祉ボランティア あしたばの会 山内勝夫さん

受診者80万人、手帳保持者35万人という人口比率で見ると、菊川は受診者が少ないし、手帳保持者も少ない。先入観を持たれ差別されるという思いがあるからなのか。それを払拭してみんなに知ってもらうためには、できるだけ外へ出て行くのお付き合ひしてみるといふのが必要だと思います。マスコミ



フレッシュベアカーリーざら 杉山光さん

余分な障がいや弊害がなく、なつてくるのかなと思います。病気や障がいプラスアルファの周りや本人の誤解のために出てきている障がいということもあつて、難しいなあと思っています。

水野 大きい問題ということじゃなくて、地域の中で小さい

などにもはたらきかけて、もっともつと理解を広めてほしいと思っています。

松下 人口当たり1%弱の障がいのある方がいると聞いておりますが、対象とする家族が把握できない現状で、家族会へ加入のお誘いが出来ていない状況です。本年度「一人で抱え込まないでまずは相談してください」と言うタイトルの手作りチラシを作成し、掛川・菊川の市役所福祉課・社協・医療関係に配置をお願いしました。関係のあるご家族の方に理解を広め開けた家族会にしていきたいと思っています。



社会福祉法人Mネット東遠 理事長 水野洋一さん

ことを一つずつ変えていくのが僕たちの仕事だと思います。例えば、12月の地域防災訓練には当事者メンバーに参加してもらいます。新しくつくったグループホームも、地域の防災訓練に参加させてもらいます。工房オアシスも、清掃除などの地域活動の割り当てがあるので、メンバーと職員とが参加しています。地域の中に入り込んで、少しずつ偏見を無くしていくしかないんじゃないかと思っています。長いスタンスで、みんな少しずつ少しずつ努力していくしか方法がないと思います。

原田 小さな取り組みという視点は大切なんですが、精神科病院への入院日数は昔に比べて格段に短くなってきています。だから、病状が悪い時に入院して、病状が改善すれば地域に戻って生活するというのが今の精神医療の現状です。

昔は年単位で入院してきた人たちが、今では1カ月とか3ヶ月といった間隔で退院して、普通の地域生活に戻っていくわけです。そうすると何が問題かというと、精神障がいに対する偏見といったものを取り除くと同時に、地域生活に戻ること、を阻害するような因子(帰って来てはいけないよ、退院すると困るよ)というような雰囲気があつては困ります。病気が落ち着いたら、普通に生活するんだよという雰囲気づくりが大切だと思っています。そういう意味では精神障がい者の、生活支援の視点は、地域に目を向けていくことが大切だと思います。ただ精神障がい者は地域生活をしている方でも、病院での通院治療を継続していることが非常に多いため、福祉と医療との両方の支援が必要で、それは車の両輪の役割のような関係を持っているといえます。

今回の座談会をおして、精神障がいの理解を広め、精神障がいの方たちやそのご家族が安心して暮らせる地域づくりを進めていかなければならないと改めて思いました。

笑顔、輝いてます —第16回—

●～活動の中で学んだことを生かして、更によりよい活動につなげていきたい～●

Q. あしたばの会について教えてください。

A. あしたばの会は、精神保健ボランティアとして、平成12年にスタートしました。現在19名の会員で活動しています。

活動内容は地域活動支援センター利用者さんのグループや、作業所利用者さんのグループの皆さんが実施する調理実習のお手伝いです。他に作業所においては利用者さんと一緒に作業の手伝いもします。(会員の自主的参加)

また、ふれあい広場の行事でバザー販売等も行っています。調理実習では「作業所」を利用して作業をしている皆さんのグループに年5回、「地域活動支援センター」を利用している皆さんのグループには年12回のお手伝いをしています。地域活動支援センターが行う調理実習は「サロン」と呼んでいます。

作業所利用者さんが行う調理実習は、利用者さんが中心となりメニューを決めますが、あしたばの会会員もちょっと仲間に入ります。サロンはメニューが決まっていますが、利用者さんの意見も時には聞き、少々アレンジも可能です。

それぞれの調理実習の日は、利用者さんを中心に食材の買い出しに出かけます。ベテランあしたば会員が同行し、限られた予算の中で見事に目的達成、生き生きと調理室へ戻ってきます。待つ者も共に喜び合います。和やかな雰囲気ですよ。さあ!調理へとなるのですが、不思議と野菜を洗う人、切る人、食器の準備など、自然に分担が決まるのです。これもお互い気持ちを通じ合っている証拠ですね。

Q. 岡田さんがあしたばの会に入ったきっかけは何ですか?

A. 「精神障がい者と共に歩むボランティア養成講座」を受講したのがきっかけです。この養成講座は、静岡県中東遠健康福祉センター(現在の静岡県西部健康福祉センター)主催で、平成11年度にたまたま菊川市が会場となったことが、私の貴重な出会いとなりました。2ヵ月間にわたり、計6回の受講日が設けられました。何とかがんばりました。その後、あしたばの会が誕生し、活動が始められたのです。すでに12年の月日が経ちました。

Q. 活動をする中で、感じることは何ですか?

A. 「活動をすること」とは「活動をさせてもらえること」だと思っています。地域活動支援センターや作業所が、利用者さんにご家族にとって、どんなにか大切な存在であるかを、おかげで知ることができました。そして、作業所や地域活動支援センターが、現在よりも更に利用者さんはもとより、そこで指導される職員のみなさんの、より一層働きやすい環境になることを願わずにはいられません。

Q. これからの目標や抱負をお聞かせください。

A. 大げさなことは言えませんが、年齢、性別、職業を問わず、できる限り自然体で多くのみなさんと出会い、知恵と力をいただき、自分自身の成長につながればと思っています。笑顔で積極的にコミュニケーションすることを心がけたいと思います。

「調理実習ではいろいろなことを学びますね。自分たちでつくった料理をみんなでいただくのが楽しいですよ。トマトゼリーは好評で、我が家の食卓にも何回ものりました。」「友だちが増えました。道やお店で利用者さんと出会うと、『今日は何のおかず?』『身体に気をつけてね。』と励まされたりします。嬉しいですね。」と楽しそうにお話してくださいました。これからも素敵な笑顔で、活動を続けていただきたいと思います。



岡田道子さん(日吉町)

施設や団体の紹介コーナー

社会福祉法人

Mネット東遠

平成4年に中東遠地区の6つの精神科病院の医師・ワーカー・行政・保健所・社会福祉協議会の方々が参加し地域活動を進めていくための「中東遠地域精神保健福祉推進会議」を前身に、平成9年9月に『ひまわり共同作業所』を掛川市に設立したことをはじめとし、平成19年2月にプラザけやき南館にきくがわ作業所を開所、平成22年4月におまえざき作業所開所、平成23年12月に菊川市赤土に工房オアシスを開所いたしました。また平成24年10月には社会福祉法人Mネット東遠が認可されました。今後は、社会福祉法人Mネット東遠（就労移行支援・就労継続支援B型・グループホーム）と特定非営利活動法人Mネット（就労移行支援・就労継続支援B型・施設外就労・相談支援事業所・地域活動支援センター）の2つの法人に分かれ活動していきます。

菊川市内には、きくがわ作業所・工房オアシス・地域活動支援センター／相談支援事業所Mネットがあります。

「きくがわ作業所」は、プラザけやき南館3階で内職作業を中心に活動しており、毎日15名程の方が利用されています。3階までの荷物の上げ下ろしは重労働ですが、皆さん明るく真面目に作業に取り組みながら、生活リズムを整えたり、就労への訓練を行っています。

「工房オアシス」は菊川市赤土にあります。クリーニング作業が作業の中心となっており、ホテルのタオルクリーニング、精神科病院の入院患者様の衣類のクリーニングを行っています。

また、地域活動支援センターMネット・相談支援事業所Mネットでは精神障がいの方やこころの病気の方、またその家族の方々などに対して、様々な悩み・心配事の解決方法を一緒に考え、地域の中でその人らしく生活できるように支援しています。

このような活動の中で、当法人が大切にしていたことが「連携」です。日々メンバーの支援をしていく中で、地域の方々や関係機関との連携の大切さを実感する事があります。メンバーの抱えている悩み・不安・生活のしずらさを解決していく為には、「連携」が不可欠です。「1人で抱え込まずみんなで考える」この顔の見えるつながりを大切に、今後も活動していきたいと考えています。



▲オアシス・タオルクリーニング



▲菊川作業所



▲センターサロン活動

社協一般会費の納入ありがとうございました

毎年、自治会を通じて納入いただいております社協一般会費(各世帯)につきまして、本年もみなさまに御理解と御協力をいただきました。今後も地域福祉の推進に努力してまいりますのでよろしくお願いいたします。

菊川市社会福祉協議会「賛助(法人・個人)会員・団体施設会員」へ 御加入していただきありがとうございました

今年7月から「賛助会員・団体施設会員」を募集いたしました。次の企業・個人・施設・団体のみなさまに御加入していただきました。御協力いただきました会費は、地域の社会福祉活動へ有効に活用いたします。

地区	世帯数	金額
西方	727	581,600
町部	945	756,000
加茂	1,508	1,206,400
内田	826	660,800
横地	575	460,000
六郷	2,914	2,331,200
河城	1,168	934,400
平川	1,005	804,000
嶺田	576	460,800
小笠南	828	662,400
小笠東	985	788,000
合計	12,057	9,645,600

法人会員

(株)ホンヤ
(株)山製茶工場(有)
(株)山岡産業(株)
(株)菱電旭テクノカ(株)
(株)菊川化成(有)
小笠町茶農業協同組合
丸幸製茶(株)牧ノ原
(有)ヤマダ商会
(株)マルコ
小笠運送(株)
マルマツ食品(有)
(有)園田自動車
(有)システムプランニング
河東開発工業(株)
(有)河原崎木型
株スタンダードエイジェンシー
ピクトリースイミング
(株)寺本カーライフ
土井電気工事(株)
(有)共栄
(有)小笠衛生
静岡経済連小笠食肉センター
阿形工業(株)
五光コンテナ(株)
杉山金網(株)静岡工場
赤土原茶農業協同組合
(有)齋能園
(有)小笠調剤センター
(有)丸正渡辺製茶工場
(株)産栄工業
(株)高忠トライデント
(株)小笠防研監理事務所
医療法人財団 篠原医院
(有)セントラル石油
掛川信用金庫 小笠支店
(有)黒澤製作所
サクラ罐工業(株) 静岡工場
島田信用金庫 小笠支店
(有)ライトスクエア
マルゼン工業(株)
(株)静岡旅の企画室
ゆうプラン小笠店
(株)すず保
相羽工業(有)
(有)保険企画
(有)栗田酒店
(株)アシスト
(有)きらく旅館
(株)たこ満
(株)中央
(中央「イ・サ・ス」 びびりキヤ)

島田信用金庫 菊川支店
堀池工機(株)
(株)静岡ツーリスト
(株)内田電設
旭テック(株)
掛川信用金庫 菊川支店
森本酒造(資)
(有)グッドラック
(有)ドライクリーン駿河屋
(有)アイエール
(有)村瀬建設
塩崎クリニク
(株)トミハラ
(株)村田建設
山本製茶(有)
医療法人社団 徳樹会 池ヶ谷内科医院
(株)オーザ
医療法人社団 正主会 福地医院
エスエイコーサン(株)
(有)オーメック
(株)美緑園
(株)アーク東海
(株)若杉組
ウイングホーム(株)
神尾金上茶農業協同組合
菊川燃料(有)
(有)松永茶舗
(株)落合組
(株)清水銀行 菊川支店
(株)石川組
掛川信用金庫 菊川南支店
(有)藤美工業
(株)服部モーター商会
(株)佐藤渡辺
(株)田嶋電気工業所
(有)夢み
(有)ツルタ
共和設備(有)
(株)ウサミ
(有)浅野鉄工所
内海建設(有)・ライファ菊川
(有)菊川生活環境センター
かわべ歯科
(有)肉のクロタ
武藤歯科医院
(有)石山商店
(株)静岡銀行 菊川支店
(有)鈴木無線
(有)加藤軽合金
(有)小田石油
(株)シムラ
(株)ミクニ 菊川事業所
ききょう薬局菊川店
(有)サワキ
三光ドライ(株)
株エムピーエス菊川ロジスティクスセンター
(株)河原崎商事菊川
三和工業(株)
(株)落合製作所
(株)沖開発
丸三共栄製茶農業協同組合
(株)故紙センタートヨタ
(株)ジャンボエンジョー菊川店
(株)東海製鋳鋼業所
(株)菊南工業

(有)スタジオワン福田
(有)長谷山機販
医療法人社団 光生会 松下産婦人科医院
(有)トラスト
(株)菊川シルバー人材センター
(株)佐野 菊川営業所
(株)青野設備工業所
スズキアリーナ菊川
森クリニク
クミアイ化学工業(株)生物科学研究所
医療法人社団 あさひ菊川耳鼻咽喉科
(株)アメニティー
(有)アサヒ工業
(有)齊藤新聞店
(有)アイメディカルマネジメント
通所介護松若
(株)スーパーラック菊川店
菊川建設(株)
横濱植木(株) 菊川研究農場
(有)菊川みなみ薬局
(有)ワカスギ塗装
小笠橋原モロロジー事務所
(株)佐野機械店
内田第二茶農業協同組合
(有)正樹園
(有)サンワテック
(有)内田第三茶農協
堀内肥料(株)
(株)浅野 静岡工場
(株)日東工業(株) 菊川工場
黒七肥料農材(株)
公文名茶農業協同組合
介護老人保健施設さわたの庄
山西茶農業協同組合
(株)福田商店
(有)ツルタ電気
菊川市商工会
(有)高塚保険事務所
静岡日電ビジネス(株)
(有)ワイエスデー
(株)山内商店菊川工場
川崎工業(株) 菊川工場
(有)小笠掛川勤労者福祉サービスセンター
落合刃物工業(株)
(株)牧野組
(株)ライフケア加藤設備
(株)山下組
フジオセックス(株) 静岡工場
医)北島クリニック

個人会員

高柳 和弘
内田 隆
水野 貞幸
伊藤 芳男
宮城 カ弘
西澤 和弘
清水 一男
鈴木 榮
河原崎 光雄
伊藤 壽一
岡本 徳夫
小笠原 宏昌
落合 良子
すずき 麗華

田島 允雄
岩科 鉄次
北沢 俊一
鶴田 浩
花村 晴弘
高木 公子
板倉 幸夫
澤崎 昭夫
鈴木 すゝ代
石田 辰芳
石原 潔
岡本 扶美子
三谷 未光
大石 明利
太田 順一
山岸 東平
森 茂
山田 伸司
八木 一枝
岡本 勉
伊藤 尚治
後藤 芳郎
細井 重弘
三井 修司
中山 安代
石川 虹美子
清水 由利子
小林 英男
永井 久男
藤田 謙司
山本 敦子
織部 雅幸
村松 貞子
鈴木 アケミ
堀川 洋見
松田 報
八木 やす江
坂部 幸恵
伊藤 洋一
匂雄 幹雄
佐野 玲子
東 和子
鈴木 麻里子
山下 啓志
伊藤 高德
杉山 志のぶ
白松 恭ノ助
大山 延行
武藤 勝彦
大庭 邦夫
田嶋 康雄
宮城 日出代
青山 録子
後藤 久子
本間 千穂子
和田 悦子
伊藤 順治
浅野 譲
竹田 春男
西澤 桂
高木 建二
堀 みゆき
高柳 和代
村田 千栄子
落合 勝國

山田 重孝
赤堀 博
宇佐美 浩一
武田 ひで代
宮崎 良江
堀尾 純世
津留崎 和弘
奥田 恵美子
鈴木 義弘
鈴木 正紀
小杉 信策
武井 秀也
竹澤 房枝
佐々木 清美
三浦 節男
横山 善明
寺本 喜久代
伊藤 礼子
横田 保夫
後藤 稔
笹瀬 操
安本 みち江
齊藤 壹則
松下 公夫
山本 康男
名波 克美
樽林 誠一
伊藤 ふき桑
鈴木 芳子
守屋 初男
山田 信治
赤堀 美恵子
横田 文子
佐藤 真理子

施設会員

横地保育園
内田保育園
千寿の園
光陽荘
喜久の園
東遠学園
草笛同作業所
かすが
菊川寮
軽費老人ホーム和松園
特別養護老人ホーム松寿園
清松園
特別養護老人ホーム松秀園
内田デイサービスセンター
NPO法人小規模多機能ホームようこそ
遠州夢咲農業協同組合デイサービス
NPO 法人ベースキャンプ

団体会員

菊川市母子寡婦福祉会
菊川市手をつなぐ子育て会
菊川市手話通訳者協議会
菊川市老人クラブ連合会
菊川市遺族会
菊川市身体障害者福祉会
静岡県行政書士会 掛川支部

【順不同、敬称略】

ボランティアの広場

ボランティアの輪・和・話(三つのわ)



「さくらんぼ」

平成14年度までのガイドヘルパーを中心に、平成15年4月に12名で発足しました。現在は11名の会員で活動しています。「障がい児者が、地域で心豊かに、健康でくらすための支援活動」を行うことを目的に、菊川市視覚障害者部会と連携した研修会や交流会を計画し、会場内の移動介助・食事介助や見守りなどの外出支援を行っています。

今後は他団体との交流会や健康づくり講座も活発に行っていきたいと考えています。

「ボランティアグループから～子育てサポートりぼん～」

“笑いヨガ(ラフターヨガ)”の御案内

子育て中の方だけでなく、幅広い年齢の方の参加をお待ちしています。

日時 11月30日(金) 午前10:00～11:30

場所 町部地区センター

内容 講話とヨガ体験

参加費 500円 【託児先着10名まで500円】

持ち物 タオル、水分

※託児: オムツ、着替え、水分、食べ物、手拭き、タオル

問合せ・申し込み先 子育てサポートりぼん

090-6642-8844 supportRBN-2000@c.vodafone.ne.jp

※この事業は社協「地域福祉活動支援助成金」を受け、実施します。

「ボランティア講演会」を開催しました

「老化を老華にするためのボランティア～ボランティア活動と老化防止!一石二鳥のボランティア効果～」をテーマに、森町病院の診療技術部長で日本抗加齢学会認定指導士の西尾正行氏を講師にお迎えし、開催されました。前半は身体と食事や栄養面の関係による老化防止、後半は老化防止のボランティア効果のお話を頂きました。

講演の中で「健康だからボランティアをする。」から「ボランティアをして心が幸福感に満たされ、だから健康(長寿)になる。」という発想の転換や、「親切やふれあいによって得られる幸せはほんのりと長続きする幸福感だから健康に若々しくなる」等、ボランティアによる老化防止のポイントをいくつか教えていただきました。

「ボランティア活動が活発な市町ほど幸せ!」ということで、参加者一同、更なる幸せに向けて進む一歩となったことと思います。



求むボランティアさん

問合せ先
ボランティアセンター ☎35-6385

活動内容 いきいきサロン利用者の送迎活動

活動日時 月・水・金(月2～3回)

募集対象 一般(普通運転免許をお持ちの方)

※基本的には、ボランティアグループの活動に参加します。

活動内容 視覚障がい者への情報提供テープの作成

活動日時 相談の上、決定

募集対象 一般

※基本的には、ボランティアグループの活動に参加します。

ご利用ください～菊川市社会福祉協議会ボランティアセンター土日開所～

12月のボランティアセンター土日開所日は、8日(土)、16日(日)です。

ボランティア相談 月～金曜日 8:15～17:00 プラザけやき ☎35-6385

参加者募集 各種事業

ひきこもり・不登校問題への家族支援セミナーを開催します

ひきこもり・不登校問題を抱えた場合は、当事者への支援も必要ですが、寄り添う家族の心と体のケアも必要です。ご家族の心身の負担を軽減し、当事者への望ましい接し方を理解するための“基本的理解”“支援実践”を学ぶ場として開催します。

日 時 平成24年11月24日(土) 午前10:00~11:30
会 場 菊川市中央公民館 多目的ホール
講 師 NPO法人サンフォレスト代表 ひきこもり支援相談士 三森重則氏
演 題 『ひきこもり支援の実際(相談、訪問、居場所、家族支援)について』

(実際の事例を通してひきこもりの現状・支援のあり方についてご講演をいただきます。)

申込み先 菊川市社会福祉協議会 FAX35-3202【申込用紙は社会福祉協議会にあります。】

参加チーム募集 第6回菊川市社協会長杯 フーバ大会!

日 時 平成24年12月16日(日) 午前8:30~
会 場 菊川市民総合体育館
参加資格 ・大会当日満50歳以上の者、但しチーム中1人までは50歳未満の参加を認める。
・チーム中1人は菊川市民または菊川市内在勤者を含むものとする。
参 加 料 1人 100円
参加申込 1チーム5人以上8人以内
先着24チーム
申込期限 平成24年11月30日(金)
申込み先 菊川市フーバ協会 FAX36-1300



精神障がい理解普及啓発交流事業 ふれあい企画~心と花を育てよう Part5~

レクリエーションや花植え、調理を通して交流することがメインです。そして交流することから障がいについて理解をしたり、知り合えるきっかけ作りをしてみませんか?

主 催 特定非営利活動法人Mネット東遠、社会福祉法人菊川市社会福祉協議会
協 力 菊川市、NEXCO中日本、花の会、あしたばの会、ジョイントサークルかたくり、水掛けボランティア 等
日 時 平成24年12月16日(日) 午前9:00~午後1:30
会 場 プラザけやき、菊川インター花壇 他
内 容 交流(交流レク、花植え、調理)、精神障がいについてのお話し(当事者体験談)
対 象 者 高校生、大学生
参 加 費 無料
定 員 20名(先着順)
申込締切 11月30日(金) ※ただし定員になり次第締め切り
申込・問合せ先 菊川市社会福祉協議会 ☎35-3724 FAX35-3202



結婚相談員が決定しました

菊川市結婚相談員10名のみなさんを御紹介します。どうぞよろしくお願いいたします。

寺本 佑三氏(平川)	水野 とせ氏(河城)	鈴木徳千代氏(内田)
藤江 正幸氏(加茂)	荒木知江美氏(横地)	伊藤 尚治氏(西方・堀之内)
佐野 康一氏(六郷)	杉森 義二氏(小笠東)	澤田 和代氏(嶺田)
		竹林つたゑ氏(小笠南)

相談窓口

福祉総合相談

日時 月~金曜日 8:15~17:00

会場 プラザけやき

心配ごと相談

日時 12月3日(月) 9:00~12:00

12月17日(月) 13:00~16:00

会場 プラザけやき

日時 12月5日(水) 13:00~16:00

12月20日(木) 9:00~12:00

会場 菊川市役所 小笠支所

結婚相談

日時 12月6日(木) 18:00~21:00
(受付20:00まで)

12月16日(日) 9:00~12:00
(受付11:00まで)

会場 プラザけやき

※初めての方は写真と印鑑をご持参ください。

ひきこもり、不登校無料相談

日時 12月3日(月) 13:00~16:00

12月17日(月) 13:00~16:00

会場 菊川児童館(プラザけやき2階)

予約電話 090-1476-3233